

エレベーターの接続ソリューション

概要

世界中で都市開発が急速に進んでいる今日、新たなショッピングモールや高層ビル、病院、オフィスが次々と建設されています。これらすべての建物に共通するのが、「エレベーター」の存在です。ドイツ発のオンライン統計ポータル「Statista」によると、2018年のエレベーター市場規模は900億米ドルを超えており、2026年には1,350億米ドルにまで達すると予測されています。つまり、世界中で日々膨大な数のエレベーターが設置・保守されている、ということです。

課題

エレベーターは製造された時点で終わりというわけではなく、その後の設置・運用は別の専門業者が担います。とりわけ重要なのは、設置後の保守体制です。「人がエレベーターに閉じ込められた場合、保守会社は1時間以内に対応し、救出しなければならない」と定める国や自治体は多く、保守体制は24時間365日体制が必須です。そのためこの分野で求められるのは、高い信頼性・セキュリティ性・そして遠隔操作・監視機能です。対象となる機器は、エレベーター本体、非常通報電話、煙感知器、IPカメラ、制御画面など多岐にわたり、それらを管理センターと接続するためには、信頼性の高いモバイル（4G LTE）ルーターが必要です。

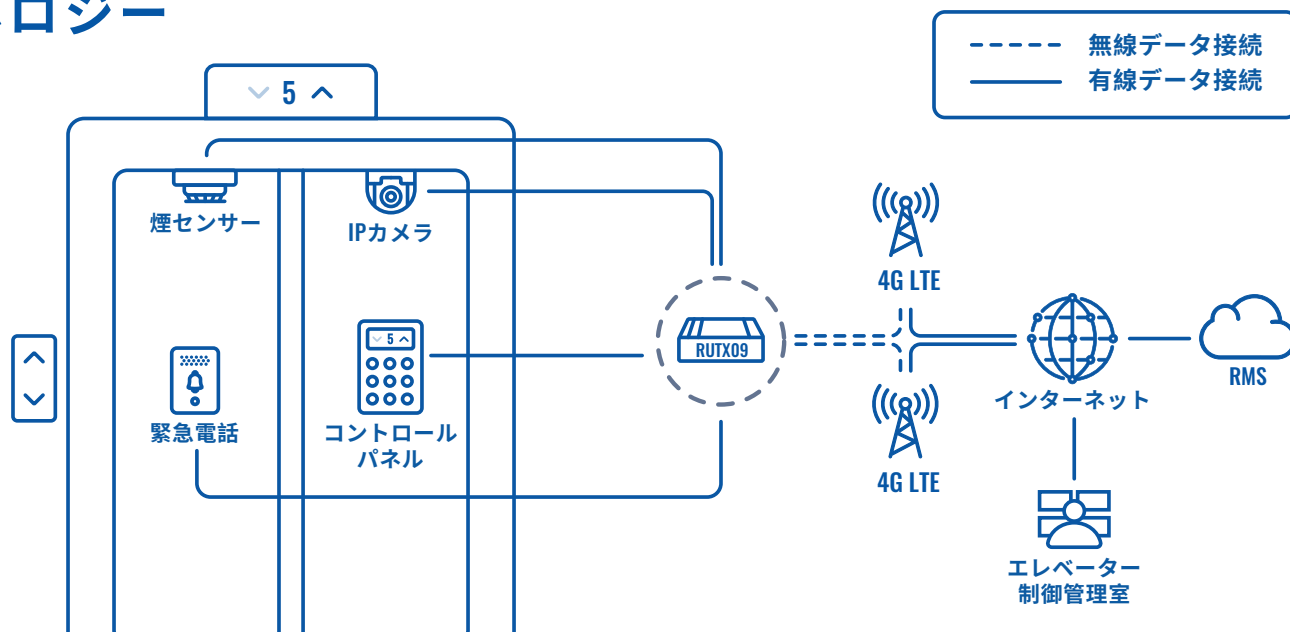
ソリューション

下図のトポロジーは、ソリューション全体の主要要素を示しています。非常通報電話、制御画面、煙探知システム、IPカメラなどが連携することで、万一のトラブル発生時に、保守業者がすぐに対応できる体制を構築します。メンテナンスを担当する各社は、現地対応の頻度を最小限に抑え、運用効率を高めるため、セキュリティシステムと信頼性の向上に継続的に投資しています。こうしたシステム全体は、故障リスクを常に抱えているため、安定かつ安全なインターネット接続を確保する信頼性の高い手段が不可欠です。

このような要件に応えるのが、テルトニカの産業用4G LTEルーター「RUTX09」です。「RUTX09」は4G LTE Cat 6とデュアルSIMスロットを搭載し、WANフェイルオーバー機能により通信の冗長化を実現します。ギガビット・イーサネットポートを4つ備えているため、各種機器との接続にも十分対応が可能です。

また、「RUTX09」には、複数のVPN、ファイアウォール、DDoS攻撃防止など多彩なセキュリティ機能を備えた「RutOS」が搭載されているのが特徴です。さらに、テルトニカ製品と互換性のある「RMS（リモート・マネジメント・システム）」を導入することで、ネットワークの遠隔監視や操作が可能となります。

トポロジー



利点

- **フェイルオーバー対応:**異なる通信キャリアのSIMカードを使用することで、万が一の障害時にもインターネット接続を維持可能です。
- **高セキュリティ:**テルトニカのルーターは、世界中の主要ISPによってテスト・認証済みです。
- **使いやすさ:**「RUTX09」に搭載されたRutOSは直感的でわかりやすいUIにより、誰にでも取り扱いやすい設計です。
- **アラート通知機能:**エラーが発生した際、RMSを通じて迅速な通知を受け取ることで、時間とコストの削減に貢献します。

テルトニカが選ばれる理由

「RUTX09」は、ギガビット・イーサネットポートを4つ、およびデュアルSIM接続機能を搭載した最新モデルのLTEルーターです。高い信頼性、セキュリティ、操作性を重視した設計思想を体現したこの製品は、当社のゲートウェイおよびルーター製品と同じく、「RMS（リモート・マネジメント・システム）」と互換性があり、リモートでのシステム全体の監視と制御が可能です。

